



## 令和6年遠野市消防出初式

令和6年1月7日(日)、遠野市民センターを主会場に、令和6年遠野市消防出初式が行われました。

この出初式は、消防団の士気高揚と一般市民の防火思想の普及を目的に毎年行われており、新型コロナウイルス感染症蔓延の影響で、縮小開催を余儀なくされていた各行事も制限がなくなり、4年ぶりに従来の規模で開催することが出来ました。

式典では、各種消防表彰が行われ、消防活動に貢献している団員や関係者 208 名が表彰されました。

式典後には、遠野駅前通りで消防団ラッパ隊を先頭に、徒歩部隊、車両部隊による分列行進が行われ、迫力ある行進に会場を訪れた一般市民から歓声が上がっていました。

出初式を通して、遠野消防の士気を高めることができ、遠野市の安心安全のため、決意を新たにしました。



## 文化財防火デー消防訓練

令和6年1月28日(日)、宮守町鱒沢地区にある白山神社鞍迫観音堂で、地元消防団、地元住民による文化財防火デー消防訓練が行われました。

文化財防火デーは、昭和24年1月26日に奈良県にある法隆寺金堂の火災により、壁面が焼損したことをきっかけに制定されました。毎年、全国各地の重要文化財等の施設で訓練が行われており、今回、訓練会場となった白山神社鞍迫観音堂は、平成6年に県指定有形文化財に指定された歴史ある建造物です。

訓練では、地元住民による観音堂内の収容物を避難させる搬出訓練や初期消火訓練のほか、地元消防団による消火訓練が行われ、「冬季の訓練で大変だったが、普段の現場活動で使用しない操作方法など、学ぶことが出来て勉強になった。地域の大切な文化遺産を一致団結して守り継いでいきたい。」と語っていました。

